

リリイ・シュシュのすべて (2001)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 146分

初公開日 2001/10/06

公開情報 ロックウェルアイズ

【解説】

ウェブサイト上でBBSの形式を利用して、一般参加者との対話の中から物語を展開させた岩井俊二のインターネット小説から生まれた衝撃の問題作。「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」「スワロウテイル」の岩井俊二監督が、14歳の少年少女たちの心の闇、焦燥、痛みを鮮烈に描き出す。

中学生になった蓮見雄一は同じクラスの優等生・星野修介と仲良くなる。夏休み、2人はほかの仲間たちと西表島へ旅行に行く。そこで星野は2度命の危険にさらされる。そして逆に、島で知り合ったばかりのバックパッカーのあっけない死を目の当たりにする。旅行から戻った星野は変質し、番長を倒し自らその座に収まり、蓮見はいじめの対象になっていく……。学校での星野の凶悪さは常軌を逸し、その仕打ちに傷つく蓮見は、唯一の慰めとなっていたカリスマ的女性アーティスト“リリイ・シュシュ”のファンサイトを立ち上げ、そこで痛々しい心情を吐露していくのだったが……。岩井監督自身「遺作にするなら、これを遺作にしたい」と語る渾身の一作。

映画で描かれる14歳はあまりにも激しい日常を生活している。それをそのまま現在の中学生に当て嵌めることはできないが、エッセンスとしては十分に伝わってくる。一方で、他校の生徒との些細なイザコザや剣道部の描写など青臭いエピソードが随所に描かれ、そうしたひとつひとつが、14歳の頃の自分の感情や気持ちといったものを強烈に喚起してくるのである。この映画に答えは用意されていない。そればかりか、観終わったあとになにか澱のようなものを心に抱え込まれてしまう。その意味でもずいぶんと罪つくりな映画である。それでもなお、すっかり忘れていた14歳のころの自分をリアルに呼び起こしてくれただけでもこの映画の価値は計り知れないといえよう。また、困難な役を誠実にこなした主演の2人、市原隼人と忍成修吾についても、その端正な容貌も含め今後の活躍が期待される俳優として付記しておきたい。

【クレジット】

監督	岩井俊二	
原作	岩井俊二	
脚本	岩井俊二	
撮影	篠田昇	
編集	岩井俊二	
音響効果	柴崎憲治	
音楽	小林武史	
スタイリスト	申谷弘美	
録音	滝澤修	
VE	佐藤学	
ヘアメイク	竹下フミ	
出演	市原隼人	蓮見雄一
	忍成修吾	星野修介
	伊藤歩	久野陽子

蒼井優
松田一沙
細山田隆人
郭智博
笠原秀幸
勝地涼
内野謙太
沢木哲
高橋一生
五十畑迅人
南イサム
中村太一
西谷有統
山内秀一
藤沼豊
田中丈資
久我未来
原田優一
土倉有貴
阿部知代
市川実和子
田中要次
吉岡麻由子
杉本哲太 Tetta Sugimoto
上田耕一
鷺尾真知子
武発史郎
カッチャン
樋口真嗣
中島唱子
藤井かほり
大沢たかお Takao Osawa
稲森いずみ

津田詩織